

きんたろう倶楽部 600メートルコース整備中

富山市の森林保全ボランティア組織「きんたろう倶楽部」(西頭徳三会長)は、同市金屋の「きんたろうの森」周辺で散策路の整備に取り組んでいる。メンバー約20人が7日、散策路コースに竹や木を粉碎したチップをまき、休憩小屋を建設する場所の地ならし作業を行った。

【webunに動画と写真3枚】

きんたろう倶楽部は昨年9月、富山市ファミリーパークに隣接する約1畝の竹林を伐採し、きんたろうの森と名付

をスタートした。

散策路コースは約600円で、数年かけて少しずつ整備する計画。きんたろうの森内に設ける休憩小屋はことし9月中の完成を目指している。

7日は、メンバーが散策路コースに竹や木のチップをまいた。チップを地面に敷き詰めることで、雑草が生えにくくなるという。同倶楽部の松田秀明事務局長は「クッション効果もあるので、歩きやすくなるだろう」と話し、作業に励んでいた。

散策路を活用してウォーキングイベントを開催する計画もある。松田事務局長は

「子どもからお年寄りまで、緑の中を楽しく歩ける道になれば」と期待している。



動画

木の枝や竹を粉碎したチップを散策路コースにまくメンバー

して策散 丘陵羽呉

